

【2020年度 自己評価結果報告書】

2021年3月作成
飯倉幼稚園

1. 本園の概況

1 組織の目的

1) 学園の経営理念（ポリシー）

時代の流れを的確につかみ、未来を担う子どもたちの健全な育成を目指し、満足できるサービスを提供することにより、地域社会に貢献してまいります

2) 学園の経営目標（ビジョン）

地域に欠かすことのできない100年続く学園の想設

3) 学園の経営方針（ミッション）

1. 「子ども」第一主義で行動する
2. 「教育」を通じて子どもの成長を促す
3. 「保護者」のニーズを的確に受け留める
4. 「人的・物的環境」の整備徹底を行う

2 組織の目的

1) 幼稚園の教育理念（教育目的）

音楽を通じて情操教育とたくましい体力づくりで調和のとれた教育をめざす

2) 幼稚園の教育目標（基本方針）

自ら立ち、自ら考え、他人を思いやること
真の「生きる力」をもった人物を育成すること

3) 幼稚園の教育方針（教育内容）

1. 【健康】 幼児体育（体力を育む）
2. 【表現】 幼児音楽（感性を育む）
3. 【思いやり】 幼児体験（心を育む）・たてわり保育 ・食育

今後重点的に取り組む目標、計画

幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、保護者のニーズを確認することで、本園としての中、長期のビジョンを明確化し、幼稚園が今後担う役割について検討する。

2. 昨年度の課題についての取り組み

課題 1	指導計画について
具体的な取り組み方法	幼稚園教育要領をふまえ、年間指導計画・年間カリキュラムの見直し 年長カリキュラムは、5領域から10の視点での内容に変更。 その日の保育内容を示す「日案方式のカリキュラム」から週での活動内容を示す「週案方式のカリキュラム」に変更した。
実際の取り組み	年齢ごとに4期に分けた年間指導計画を作成。それをもとに年間カリキュラムを見直し、2020年度カリキュラムを作成した。 年長児のカリキュラムにおいては、幼稚園教育要領の「10の視点」に基づき、作成（資料1）。 「週案方式のカリキュラム」に変更した（資料2）ことで、各担任が子どもの様子や、天候などをみながら、保育を計画的、且つ、柔軟に考えるようになり、より子ども主体の保育を展開出来ている。

課題 2	教師の資質 指導向上に向けて
具体的な取り組み方法	昨年同様、園内研修の実施。また、P J会議として、各P Jが内容を検討し、職員間で話し合う場や、学び合う場となるよう実施する。ティーム保育として、同学年、他学年、保育園など幅広く様々な保育をみて学ぶ機会を設けていく計画をする。
実際の取り組み	園内研修の予定を作成（資料3）。また、P J会議担当表を作成。園内研修は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対応として、延期や、中止をすることがあったが、P J会議は、予定通り実施できた。P J会議の時間を設けたことで、それぞれのP Jに合わせた内容を工夫し、実施することができた。また、その内容を「研修だより」として、保護者に示すことができた。（資料4） ティーム保育は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、交流を極力控えた為、実施できず。

3 評価項目および取り組み状況

評価分類		取り組み状況
保育の計画性	園の教育理念・教育方針の理解	○園の教育理念や教育方針を常に理解し、教職員で話し合い園の目指す幼児の姿を具体的にイメージしながら日々の保育にあたっている。
	指導計画の作成	○園の方針を指導計画や保育に生かし、教育要領や幼児の実態等を元に考えて作成している。 ○長期の指導計画は毎年見直しを行い、また短期の指導計画は幼児の実態に常に対応できるような順応性のあるものにしていく。 ○総合的な活動ができるように考慮して作成している。
	環境構成	○ 指導計画に基づいて幼児が主体的に関わりたくなるようにまた安全面に考慮して環境構成をしている。 ○ 楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる、時間や環境の構成に努めている。 ○ 季節の変化や、幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示を考えている。
	保育と計画の評価と反省	○ 自分の保育の評価と反省を日々、保育日誌として記載し、月ごとに職員で、反省・評価を行っている。 ○ 評価・反省は次の保育を見直す材料となるよう反省ノートとしてすぐ開示できる。

保育の在り方 幼児への対応	健康と安全への 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児の体調には常に気を配り体調が悪そうな幼児には安静や検温など適切な処置を行い家庭に連絡を入れるようにしている。 ○ けがや事故には特に気を配り、危険が予測される場合は、幼児たちと一緒に見たり考えたりして気付かせるように配慮している。 ○ 園内に危険な箇所がないか、遊具は安全か毎週点検を行っている。 ○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、消毒、検温、マスクの着用を徹底する
	幼児のみとりと 理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人ひとりの幼児をよく理解する為には、観察、予測、推察が大切であることを理解し自分の一方的な感じ方や考え方で決め付けないよう心がけている。
	指導とかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児にあわせて同じように動いたり同じ目線にたつてものを見つめたりするように心がけている。 ○ 遊びの援助者であることを理解し幼児にヒントやアイデアをすぐに提供できるようにしている。 ○ 幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年を超えて情報を共有している。 ○ 異年齢児とのかかわりがもてるように、ティーム保育（たてわり保育）を取り入れている。
教師としての 資質や能力・ 良識・適性	専門家としての 能力・良識・義務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼稚園教諭としての専門知識や技能を常に身に付けていけるよう年間を通しての研修や講習会に参加している。 ○ 良識ある社会人としての心がけを忘れない。
	組織の一員として の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員全員でひとつのチームであることを意識している。
保護者への対 応	情報の発信と受信	<ul style="list-style-type: none"> ○ 連絡帳を利用して、幼児の様子を写真などを交え、伝わりやすいように配慮しながら、知らせている。また日々の様子について特記すべきことは必ずその日に連絡をとるようにしている。 ○ ホームページやインスタグラム等の SNS で園での様子を配信している。 ○ 見学不可の時期には、保育の様子を動画配信したり、写真を取り入れた資料を配信するなど情報公開に努めた。 ○ 保護者からご意見をいただいた場合は、まず謙虚にその話を聞き、内容によっては、職員全体で検討し、共通理解の上で対処している。

<p>研修と研究</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通じての研修、および園児夏休み中に集中研修をうけている。 ○ 園内研修を設け研修内容を教職員で共有し保育に生かせる工夫をしている。 ○ 研修後は報告書の作成を徹底している。 ○ ティーム保育として教師が他のクラスに入り、クラス担任の保育を見学して、保育の意見交換をし 職員全員で全園児を共通理解できるように、園児の個性を共有する時間を取っている。
--------------	--	---

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>指導計画について</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、子どもにとって最善の保育ができるよう、状況に応じた柔軟な判断、対応ができるよう努める。</p> <p>また、「園行事を子ども主体に変える」をテーマに、行事のあり方について考える。現在行っている行事をもとに見直していく。</p>
<p>教師の資質指導向上にむけて</p>	<p>昨年度、実施できなかったティーム保育を実施し、同学年、他学年など幅広く様々な保育をみて学ぶ機会、また、互いの保育を認め合う場を設けていく（記録に記入、終礼で発表）。また、各担任が子ども主体の保育活動をどのように考え、行っているのか、語り合う時間を設ける。（月に一度のカリキュラムの時間）</p> <p>また、昨年度に引き続き、園内研修、P J 会議の時間を設け、職員間の共通理解、専門性の向上に努める。</p>

5. 幼稚園関係者評価委員会よりの所見

特に指摘すべき事項は無く、妥当であると認められている

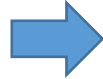
6. 財務管理

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

【資料 1】

【資料 2】

月	日	研修内容	講師	備考
4月	17日(金)	運動遊びとボールあそび	中止	
5月	15日(金)	西部保育センター研修	延期	
6月	19日(金)	AED-救命教訓講習	開催	
7月	17日(金)	農村遊び(延期) 西部保育センター研修	開催	
8月	29日(土)	夏の研修発表	延期	
9月				
10月	16日(金)	読書の秋(読本)と「季節遊び」	中止	
11月	20日(金)	CAP研修	開催	
11月	28日(土)	研修発表(12月2~4日に変更)	開催	
12月				
1月				
2月				
3月	19日(金)	まとめ	中止	



月	日	研修内容	講師	備考
4月	17日(金)	運動遊びとボールあそび	中止	
5月	15日(金)	西部保育センター研修	延期	
6月	19日(金)	AED-救命教訓講習	開催	
7月	17日(金)	農村遊び(延期) 西部保育センター研修	開催	
8月	29日(土)	夏の研修発表	延期	
9月				
10月	16日(金)	読書の秋(読本)と「季節遊び」	中止	
11月	20日(金)	CAP研修	開催	
11月	28日(土)	研修発表(12月2~4日に変更)	開催	
12月				
1月				
2月				
3月	19日(金)	まとめ	中止	

【資料 3】

園内研修 2020 予定

※毎月第3金曜日 15:00~15:50 毛織園研修の目とします。

※今年度は、「遊びの創り」をテーマに研修を進めます。その他、別研修も取り入れたいと考えています。

月	日	研修内容	講師	備考
4月	17日(金)	運動遊びとボールあそび	中止	
5月	15日(金)	西部保育センター研修	延期	
6月	19日(金)	AED-救命教訓講習	開催	
7月	17日(金)	農村遊び(延期) 西部保育センター研修	開催	
8月	29日(土)	夏の研修発表	延期	
9月				
10月	16日(金)	読書の秋(読本)と「季節遊び」	中止	
11月	20日(金)	CAP研修	開催	
11月	28日(土)	研修発表(12月2~4日に変更)	開催	
12月				
1月				
2月				
3月	19日(金)	まとめ	中止	

2020年度 職員研修発表

日	時間	研修内容	発表者	発表場所
2020年12月2日(金)	9:00~11:00	保育者に求められるもの	資料	毛織園
5月	11:00~12:00	2年目研修会 「コソコソ入浴について」	資料	毛織園
2020年11月14日(金)	9:00~11:00	園内研修 「自分たちの保育について」	資料	毛織園
9月	10:00~11:00	園内研修 「自分たちの保育について」	資料	毛織園
9月	11:00~12:00	園内研修 「自分たちの保育について」	資料	毛織園
2020年12月4日(金)	9:00~11:00	園内研修 「自分たちの保育について」	資料	毛織園
11月	11:00~12:00	園内研修 「自分たちの保育について」	資料	毛織園

【資料 4】

飯倉幼稚園 研修だより

2020 年度

園内研修では、外園から講師の先生方をお招きしています。

AED-エビベン研修

様々な緊急事態を想定し、適切な対応が出来るよう、研修を行いました。

保育センター研修

様々な子どもの特性を、保育士間で共有し、適切な対応が出来るよう、研修を行いました。

CAP プログラム

子どもたちの個性を、保育士間で共有し、適切な対応が出来るよう、研修を行いました。

飯倉幼稚園の職員は、全ての子どもたちの命と未来を守るために！研修を通して学びます！

年度研修では、職員間でPJ(プロジェクト)チームという活動をしています。それぞれのPJチームが目標を定め、発表、発表などを行い、発表する事で、より良い幼稚園を目指します！

<改善提案 PJ>

今年のテーマは「保育の見直し・改善」

「改善」とは物の成否、目的を定めて、改善を促すことですが、今年度は、多岐にわたる改善案を募集し、子どもたちを取りまわす環境や、保育のやりかたなどについて、改善を促し、身の回りを見直し、改善を促すことになりました！

<ありがとう育てようPJ>

今年のテーマは「チームワークと感謝」

職員間のあがりがどうの輪を広げるために、アンケートを行いました。飯倉のあがりがどうの輪を広げ、伝える事が出来た！また、日頃からお世話になっている地域のみなさんへ感謝の気持ちを伝える事が出来た！

<5SPJ>

今年のテーマは「安全・清潔な幼稚園を！」

5S(整理・整頓・清掃・清拭・点検)とは、何かを、改めて再確認した上で、子どもたちが安心して過ごせるよう、職員も心掛けて取り組む事を考えてきました。園内の隅々まで気に掛けながら、安全を大切にし、清潔感を意識して、身の回りを整えることが出来ました。

<教材研究 PJ>

今年のテーマは「保育内容・教材の見直し」

子どもたちの個性や、発達段階に応じて、子どもたちの興味・関心に合わせて、保育内容を共有することで、職員間の保育の方向性を見直し、改めて保育について考え直すことが出来ました。